

気候変動を踏まえた新たな取組の方向性【国（庄内川河川事務所）】



みんなが暮らす土岐川・庄内川

○気候変動に伴う水害リスク増大に備え、これまでの庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく対策を最大限加速化^①させるとともに、気候変動を踏まえた河川整備計画へ見直し^②を図ることで、より一層対策に取り組んでいく予定です。

○上記の取組に加えて、引き続き、『河川や流域での対策』や『流域治水への理解や参画を促す取組』について、協議会構成員・オブザーバーが一丸となり継続的に推進していくことで、流域の安全・安心と持続的発展を目指します。

①庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく対策の加速化

ハード：防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策・5か年加速化対策等

＜治水対策の効果＞

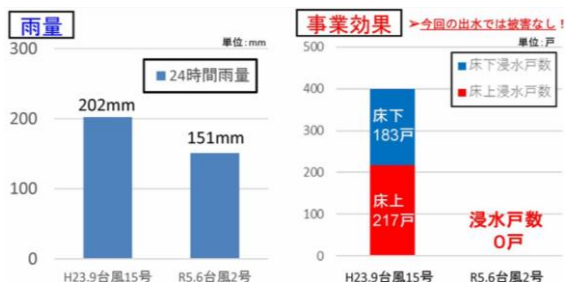
完了した対策が効果を発揮



【排水機場整備、河道整備、橋梁改築】

庄内川水系八田川・地蔵川では、H23浸水被害の発生を踏まえ、愛知県が床上浸水対策特別緊急事業を実施し、地蔵川排水機場がR5年5月に完成。

完成翌月のR5年6月大雨で早速、治水効果を発揮。



＜治水対策の加速化＞

加速化による早期完成



【堤防整備】

春日井市上条地区の堤防は、断面が不足し、洪水時に決壊等のリスクが高いため、平成26年度から堤防整備を実施。5か年加速化対策によりR7年度に完成予定。

加速化による新規着手



【河道掘削】R6年度より河床掘削に着手予定。詳細な調査を踏まえて河道拡幅の早期着工を目指します。

さらなる事業の推進



枇杷島地区下流の河道掘削を推進

【橋梁架替、堤防整備、河道掘削】

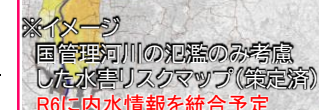
R5年11月に県道橋の仮橋への切替完了。
引き続き、治水安全度早期向上のため、県・市・JR東海と緊密に連携して取組みます。

ソフト：内外水統合型水害リスク情報の整備

【水害リスク情報】

庄内川流域治水協議会を通じ、各管理者と連携してR6年度に策定予定。

水害リスク情報の認知とリスクを踏まえた流域治水対策の強化を目指します。



②気候変動を踏まえた河川整備計画への見直し

気候変動により目減りする治水安全度を、新たな治水対策^{*}の実施により維持・向上を図ります。
(さらなる堤防整備・河道掘削、流域の貯留・遊水機能の活用、越水に対して粘り強い河川堤防等の検討)

※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備計画変更の過程でより具体的な対策内容を検討してまいります。11

国土交通省
中部地方整備局

愛知県

名古屋市

清須市

JR東海

-
- 標準的な施工断面**
【県道枇杷島橋改築（名古屋市施工）】
- 新堤（引堤）
新橋
現橋
新堤（嵩上げ）
- 緊急時のための土のう仮置き
- 名古屋市
- 清須市
- 名鉄名古屋本線
- 県道枇杷島橋
- JR東海道本線
- JR東海道新幹線
- 計画堤防法線
- 現堤防
- 庄内川
- 引堤
- 狭窄部
- 事業箇所
- 位置図
- 県道枇杷島橋では、緊急時には通行止を行い、土のう積を実施
- <左岸上流部の水防対策状況>
- 計画堤防法線
- 現堤防
- JR東海道本線
- 庄内川
- <右岸下流部の水防対策状況>
- 計画堤防法線
- 現堤防
- JR東海道新幹線
- 庄内川
- | | | |
|----------|-----|------|
| 特構事業 | 実施済 | 黒色実線 |
| | 施工中 | 赤色点線 |
| | 未施工 | 緑色点線 |
| 粘り強い河川堤防 | 施工済 | 黒色点線 |
| | 施工中 | 赤色点線 |